

介護職の医療的行為 傷の処置

介護職の医療的行為—傷の処置

問題 1 誤りはどれ？

- ①介護職は，どんな傷でも処置をしてよい。
- ②傷口に異物が刺さっている場合には，医師に相談する。
- ③出血がある場合は，そのままにしておく。
- ④傷を洗淨することは，皮膚の回復に有効である。

問題 1 解答

誤っているのは①、③

①介護職が処置をしてよい傷は**軽微な傷**である。

医師や看護師と相談しながら軽微であるかどうかを判断する。

軽微な傷とは、**軽い切り傷、すり傷、やけど等、専門的な判断や技術を必要としない程度の処置が必要な傷**のこと。それ

に対する包帯や絆創膏の貼付なども問題なく対応可能。

出血が止まらない傷や、縫合が必要だと考えられるような大きさ、深さの傷の場合には医療従事者に報告する。

③出血がある場合は**圧迫して止血**する。

介護職の医療的行為—傷の処置

問題 2 誤りはどれ？

- ①感染している傷は，周囲が青くなっている。
- ②出血をしている場合は，出血部位を心臓より高くして，清潔なガーゼなどで圧迫する。
- ③傷口は，ティッシュペーパーや脱脂綿などで押さえるとよい。
- ④片手で押さえても止血できない場合は，両手で体重を乗せながら圧迫止血をする。

問題2 解答

誤っているのは①、③

①感染している傷は、**周囲が赤く**なっている。

③**傷口に付着して**しまうため、
ティッシュペーパーや脱脂綿などで押さえては
いけない。

介護職の医療的行為－傷の処置

問題3 誤りはどれ？

- ①消毒薬は、新しい皮膚の再生に悪影響を及ぼすため、近頃ではあまり使われなくなってきた。
- ②傷口の洗浄には生理食塩水や水道水が用いられる。
- ③外傷における傷は、どんなに小さな傷でも縫合しなければならない。
- ④脳梗塞の治療薬などを内服している場合は、出血が止まりにくい場合があるので、圧迫はしない。

問題3 解答

誤りは③、④

③小さな傷の場合は縫合しないこともあるが、出血が止まらない場合や傷口が閉じない場合などには縫合することがある。

④脳梗塞の治療薬などを内服していると出血が止まりにくい場合があるので、通常より長めに圧迫する。

介護職の医療行為—傷の処置

問題4 誤りはどれ？

- ①近年ではガーゼを使わずに、ポリエチレンの素材のラップや流しの三角コーナーに使う水切り袋を使って傷を覆い、治す方法（ラップ療法）が普及している。
- ②ラップ療法では、傷からの浸出液が多い場合には、紙おむつをラップでくるみ、ラップに穴をあけて、浸出液を紙おむつに吸わせるようにすると効果的である。
- ③傷は最低でも3日に1回は、洗浄して状態を観察して、ラップを交換することが重要である。
- ④ラップ療法は、処置が簡単であるが、コストがかかることが欠点である。

問題 4 解答

誤っているのは③、④

- ③傷は最低でも1日1回洗淨、ラップ交換をすることが必要である。時間的に余裕があれば、1日2回や3回洗淨すればするほど傷の治癒の可能性は高まる。
- ④ラップ療法のは、処置が簡単であり、コストがかからず経済的である。

介護職の医療的ケア-傷の処置

問題5 事例問題

介護施設の機械浴で入浴介助をしていたが、右上腕が機械に引っかかり、5 cmもの大きな傷ができてしまった。それほど深い傷ではなく、表皮剥離の深さであった。出血も数分圧迫するだけで止血ができた。主治医に電話連絡をしたが、今日は診察ができないので、明日、診察にきてくださることになった。

明日までは、ラップ療法で処置をしておくように指示があったが、どんなことに注意して、どのような対応をしたらよいか。

問題 5 解答

圧迫をして止血ができたなら、次は、**傷の洗浄**をする。浴室での事故なので浴室にてそのままシャワーを使って行う。シャワーの勢いは、強めがよいが、はがれた皮膚ができるだけにはがれないようにシャワーをあてる方向に気をつける。お湯の温度は、**通常の入浴の温度**と同じでよい。

紙おむつにラップ（穴の開いた流しの三角コーナーの袋が便利）を巻いて、傷に貼る。翌日、主治医が来るまでの間は、浸出液が多くなり、漏れ出てこない限り、そのまま様子を見る。

【参考文献】

- 1) 岩下馨歌里：研修用DVD安心安全ケア教育 下巻，2012.
- 2) 介護人財育成ぶらすVol. 5， No. 7（特別編集号），2008.

教材作成

有限会社ファイブアローズ

取締役 岩下由加里

※本教材は「介護研修115の問題用紙」（日総研出版）の教材を大幅に加筆修正したものである。

日総研介護人財

お疲れさまでした。